



新規受託項目

謹啓 時下ますますご清栄のことと、お喜び申し上げます。
平素は格別のお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。
この度、下記検査項目につきまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。

謹白

記

● 項目名

● CAP アレルゲン 16 種セット (成人喘息 16) 【 検査項目コード 77407 】

受託開始日 2019年9月24日 (火) 受付分より

成人喘息の有症率は9～10%との報告があり、中でも高齢者の有症率が高い傾向があります。
また、喘息はアレルギー疾患の中で死亡例が多く、近年減少傾向ですが、2016年には1454例あり、そのほとんどが成人、特に高齢者と報告されています。
喘息の病型は一般的にアトピー型と非アトピー型に分類され、成人喘息では小児喘息に比べ非アトピー型の割合が増加するものの約70%はアトピー型に該当するとの報告があります。
アトピー型喘息では病因アレルゲン曝露は気道炎症を助起して、気道過敏性の亢進と気道狭窄反応をもたらすため、病因アレルゲンの回避・除去などが有効性を示します。
今回受託を開始する「CAP アレルゲン 16 種セット (成人喘息 16)」は、重篤な喘息疾患を引き起こす可能性がある真菌類を中心に感作率が高いアレルゲンを組み合わせたセット検査です。
成人喘息疾患の感作アレルゲンの特定や病型の鑑別にご活用ください。

裏面につづきます

013



より正確に！
より迅速に！
地域に密着した検査体制

登録衛生検査所
一般社団法人
岐阜市医師会臨床検査センター
電話 058-255-1040

013

受託要領

検査項目コード	77407
セット名称	CAPアレルギー16種セット(成人喘息16)
セット内容	ヤケヒョウヒダニ、すぎ、かもがや、ふたくさ、よもぎ、アスペルギルス、アルテルナリア、カンジダ、クラドスポリウム、ペニシリウム、ムコール、トリコフィトン、ネコ皮膚、イヌ皮膚、ゴキブリ、ガ
検体必要量	血清 1.5mL
容器	1 → S-1
検体の保存方法	冷蔵
所要日数	3 ~ 4
検査方法	FEIA法
基準値	(各アレルギー)0.34以下
単位	U _A /mL
報告桁数	小数第2位
検査実施料/判断料	1,430点/144点(免疫学的検査)
備考	【チャート報告書】アレルギー検査チャートの報告対象項目です。

(判定基準)

判定	クラス	U _A /mL
陰性	0	0.34以下
疑陽性	1	0.35 ~ 0.69
陽性	2	0.70 ~ 3.49
	3	3.50 ~ 17.49
	4	17.50 ~ 49.99
	5	50.00 ~ 99.99
	6	100以上

各真菌の主な特徴

真菌名	主な特徴
アスペルギルス	下気道の真菌症に最も関連する。
アルテルナリア	孢子が大きく上気道に留まるが、粉碎された孢子が下気道まで届くことがある。
ペニシリウム	アスペルギルス同様、人の体温でも生育し真菌感作喘息を起こしやすい。
クラドスポリウム	環境中に比較的多く孢子が存在する。
ムコール	鼻粘膜や肺から侵入して起こるムコール症が重要であるが、ムコールが吸入性アレルギーとなって1型アレルギーを起こすこともある。
カンジダ、トリコフィトン	皮膚常在菌だが喘息にも関与することがある。

【参考文献】

- 1) 日本アレルギー学会「喘息予防・管理ガイドライン2018」作成委員会：喘息予防・管理ガイドライン2018(協和企画)。
- 2) 太田健：アレルギー 65(2), 97-103, 2016。